

特集

未来をかえる×江別

少子高齢化、人口減少、働き手不足。日本を取り巻く環境は待ったなしのスピードで変化しています。

厳しい環境の中で、次代の江別を担う子どもたちへ豊かな環境を残していくためには人口を維持していく必要があります。そのためには、江別を知らない人へのPRに加え、江別で育った子どもたちにも、大人になって住みたいと思えるような魅力を、感じてもらうことが重要です。

あなたは江別の「魅力」についてどう考えますか。

企画 広報広聴課 ☎ 381-1009



Surevey
＝子どもたちの本音＝

中学生 × 江別

市内の中学3年生を対象に江別について
どう思うかを調査しました。

このアンケートは市内の
中学3年生330名を
対象として行いました。

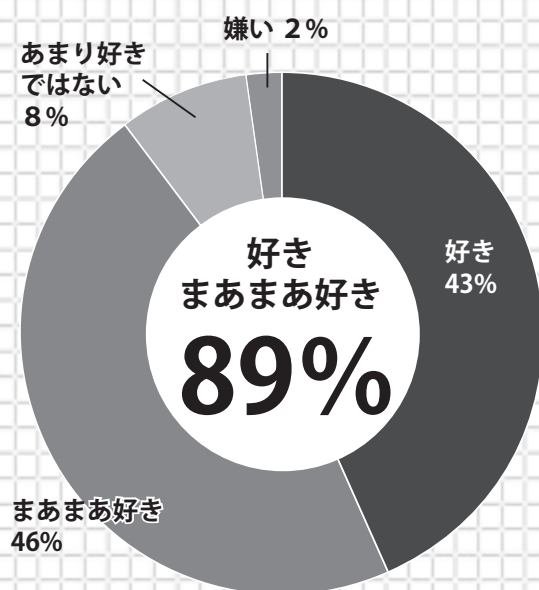
将来、江別に住みたい、ま
たは一時的にでも戻りたいと
思う人は6割程度。思わない
という人からは「やりたい仕
事ができない」「都会に住み
たい」という意見があがしま
した。

また、江別が「好き」「ま
あまあ好き」と回答した人は
9割近くと高い結果でした。
一方で、江別の良いところを
「3つ以上あげられる」と回
答した人は6割程度にとどま
りました。

江別が「好き」「まあまあ
好き」だけでなく、良いところ
をあげられないのは何故で
しょうか。



あなたは江別が好きですか？



好き・まあまあ好きと回答した人の意見

- ・都会すぎず、田舎すぎない雰囲気が好き。
- ・犯罪も少なくてなんか平和。
- ・なんもないけど、足りないものもない。
- ・空気がきれい。住み心地が良い。札幌に近い。
- ・給食が他のところより美味しい。



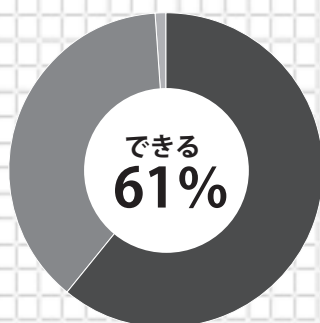
あまり好きではない・嫌いと回答した人の意見



- ・札幌が近く便利だが、買い物する所が少ない。
- ・地味。広大な自然やたくさんの野菜があるけど、江別はコレといったものがない。つまらない。
- ・江別のいいところがあまりわからない。
- ・交通手段が少ないところ。駅まで遠い。



江別市の良いところを3つ以上 あげることができますか？



- できる 61%
- できない 38%
- 無回答 1%

中学生の声



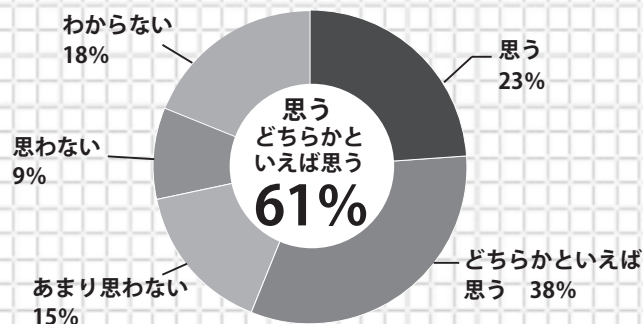
優しい人
が多い

小麦やれんが、野菜などを
抑え、住環境に関する意見
が過半数を占めました。

- ・静かで暮らしやすい
- ・祭りなどが意外と多い
- ・自然が多くきれい
- ・近所の人がいい人！



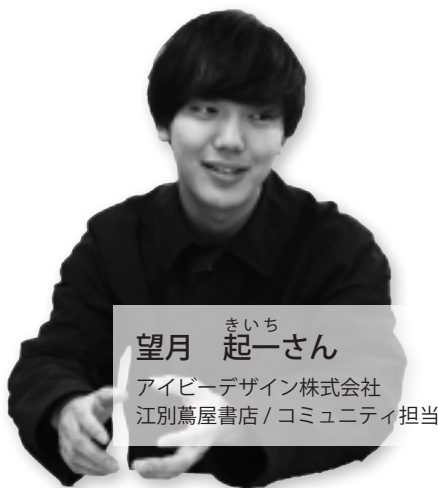
将来、就職や進学で江別を離れても、 また戻ってきたいと思いますか？



すぐには思わないけど、だんだん戻っ
て来たくと思う。将来目指している仕
事で、江別の人も助けて江別の力になれ
たらいいと思っています。

中学生の声





望月 起一さん

アイビーデザイン株式会社
江別蔦屋書店 / コミュニティ担当

11月21日、牧場町にオープンした江別 蔦屋書店。四季のみに近く緑豊かな環境と、れんが色が目をひく真新しい建物に一歩足を踏み入れると、そこはまるで本の森。無数の好奇心が、訪れた人を刺激します。

蔦屋書店はその土地にあったコンセプトで全国に出店しており、道内では2店舗目。各地の魅力を引き出し、新しいライフスタイルを提案する蔦屋書店。まちの魅力についてどのような考えがあるのか、江別 蔦屋書店の望月起一さんに伺いました。

江

別市を訪れた時に、四季のみの緑がとてきれいで、ここで本を読みながらコーヒーを飲んだら、気持ちいいだろうなと思いました。蔦屋書店のコンセプトである上質な時間と空間を提案できる場所だと感じました。

田園都市スローライフ

江別で提案したいライフスタイルは「田園都市スローライフ」です。札幌に電車で20分で行ける高アクセスな土地でありながら、これほど緑が豊かな環境は、なかなかありません。ここでしか実現できない「スローライフ」があると感じています。

また、比較的土壌や家が安く、余った所得で趣味や子どもに投資できるため、あえて「スローライフ」を選択し、賢く暮らしている人が江別に

いると思います。心も体もゆったりと過ごす時間は、自分自身のさらなる向上のための「自分をみつめる時間」であり、ゆつくりとくつろげる「家族との時間」でもあると思います。フランスよく人生に投資できる考え方と場所が江別にはありますね。

それらを背景に、「食」、賢く暮らす「知」、子育てやアウトドア、インテリアといった「暮らし」をコンセプトに江別 蔦屋書店を展開することになりました。子どもから大人まで思い通りの過ごし方ができる、新たな居場所ができたらと思います。

出店にあたり、事前にこのまちにどんなものが欲しいかというアンケートをとったところ、「美味しいものが食べられる所が欲しい」という回答が多くありました。他のま

ちでは見られない結果だったので、意外でした。江別の方は食への関心が強い人が多いと感じました。

新たな関心が人の繋がりを生む場所へ

インターネットの普及によって、買い物も人に会うことなく、簡単に済ませることができるようになりました。人と接する時間は少なくなり続けていますが、江別 蔦屋書店は、訪れた人達のコミュニティが生まれ続ける場所でありたいと考えています。

ここに集まる人達が、さまざまな体験を通して交流すること、新たな興味や関心が生まれるといいなと思います。それが個人の趣味活動でも、大きく見れば、まちが活性化するきっかけになるかもしれません。

まちの魅力＝人の魅力

私は「魅力的なまち」とは「そこに住む人が魅力的なまち」だと考えています。

私は出店の1年以上前から江別に住み始め、この店を地域に根差した愛される店にするために、色々な人に会いに行きました。すると、何度も名前を聞く人が現れるんですよ。そういう人たちが私は地域の繋がりの基盤になる人と考えていて、その地域の魅力の一つだと感じています。

江別 蔦屋書店は江別に住む素敵な人、面白い人の魅力を発信できるような場所にしていきたいです。

本やキッチン用品、調理器具と食材が並ぶ。レストランも複数出店している
3 四季のみにちを眺めながら暖炉を囲むカフェ
4 子どもたちがおもちゃで遊びながら過ごせるスペース



1 店内には机や椅子が設置され、本を読みながらコーヒーを楽しめる



江別 蔦屋書店（牧場町 14-1）

☎ 011-375-6688

営業時間 8時～23時

子育て支援の
ボランティア活動
を行っています！
白川典子さん

江別を元気に する人たち

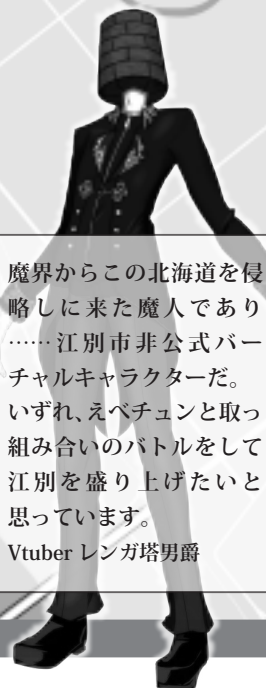
江別をもっともっと有名に！
江別から全道へ元気を届けます！
EIP（江別アイドルプロジェクト）



レンガ塔男爵

魔界からこの北海道を侵略しに来た魔人であり……江別市非公式バーチャルキャラクターだ。いずれ、えべっちゃん（エベツちゃん）と組み合わせのバトルをして江別を盛り上げたいと思っています。
Vtuber レンガ塔男爵

我が名は



「住みたくなくなるまち」とはどのような所でしょうか。生活に必要な店が揃っていること、静かな環境があること、娯楽施設が充実していることなど、人それぞれ魅力を感じるものは違います。数ある市町村の中から江別を選んで住みたいと思ってもうらうには、他のまちにはない魅力を発信し、江別でどんな

暮らしができるのかを知ってもらうことが必要です。魅力はひとそれぞれ情報社会になり、情報の受け手の興味や関心は多様なものになりました。これを満足させるためには、さまざまな視点で情報を発信していく必要があります。行政の視点からだけでなく、皆さんの視点から見て「面白いもの」「魅力的なもの」を発信することも、多くの人に住みたいと思われるまちを作るうえで、重要な要素になっています。

中学生に行ったアンケートでは、「隠れ家が多いこと」や「野生の動物を身近に感じられること」を、江別の良いところとして挙げていた回答がありました。こうした小さな興味や発見を誰かに伝えることで、ほかの地域の人が興味を持つきっかけにつながるのではないのでしょうか。

暮らしができるのかを知ってもらうことが必要です。魅力はひとそれぞれ情報社会になり、情報の受け手の興味や関心は多様なものになりました。これを満足させるためには、さまざまな視点で情報を発信していく必要があります。行政の視点からだけでなく、皆さんの視点から見て「面白いもの」「魅力的なもの」を発信することも、多くの人に住みたいと思われるまちを作るうえで、重要な要素になっています。

あなた
×
江別
＝

未来をかえる

自然と共存し、子どもたちの遊び場所として使える森林などを作っていくって、進化はしていくけれど変わらない街並であってほしい

現状維持！

レンガや小麦などをもっと街の中に活かせるまち。
もっと江別らしさが欲しい！

田舎感をのこしつつ少し発展みたいな。もう少しお店とかがあっても良いと思う



中学生へのアンケートから
こんな江別
になってほしい！

大人になった時に
江別市出身で
良かった
と思えるようなまち

「ジモト江別野菜を通じて
江別の魅力を発信します！」

江別市民が誇れるマルシェに成長して
いきたいと日々試行錯誤しています。

由利花織さん（左）
柏村知世さん（右）



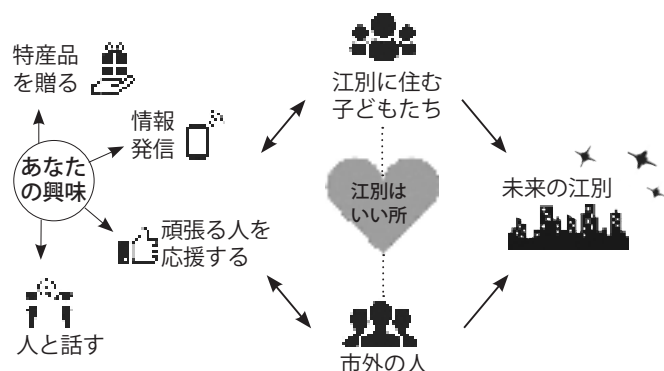
自分たちのまちの安全は自分たちで守る！

庭の手入れをしながら、犬の散歩をしながら…自分のできるときに
防犯や安全点検活動を行い、安全な地域を目指しています。
高齢者や子どもたちを事件や事故から守りたいです。



大麻第二住区自治連合会 ながら安心パトロール隊

小林徹男さん 小島忍さん 佐古利夫さん 佐藤忠さん 川瀬美由喜さん 宮崎廣規さん



まちは人でできている

また、市内には面白い活動
をしている人、地域に貢献す
る活動をしている人、仕事を
通じて江別の魅力を伝えてい
る人など、自分の好きな事や
やりたい事を通じて江別を元
気に盛り上げてくれている人
たちがいます。このような活
動も、江別の魅力の一つです。

江別市は、平成29年度の人
口が社会増となりました。一
方、今年度実施した市民アン
ケートでは「江別市の特徴や
魅力を市外の人に伝えられる

ご意見を募集します

特集へのご意見や、あなたの周りの面白い人や物の情報を
募集します。ぜひお知らせください！

市ホームページから

右のQRコードからアンケートにご回答ください。

郵送・ファクスで送る

〒067-8674 高砂町6 FAX 381-1149

※メッセージは、匿名で広報誌やホームページなどご紹介
させていただく場合があります。個別に回答はしていません。



か」という設問に「伝えられ
る」と答えた市民の割合は
35%と半数以下でした。人口
を維持し、発展していくため
には、行政の力だけではなく、
このまちの皆さんが魅力を見
つけ直す力が必要です。
暮らしの中の「ちよつとい
い」ことを家族や友人と話し
てみたり、魅力的な活動をし
ている人を応援したりするこ
とも、江別の応援につながり
ます。あなたの興味や関心が
誰かに伝わっていくことが、
まちの未来をかなえる力になる
かもしれません。

誰からも
愛されるまち！

多くの人が観光など
で訪れてくるような
素敵なまち

ベッドタウンだけでなく、
歴史や文化を活かし
た都会的な町

穏やかさや優しさを知ってもらえるように、
観光する人が多くほしい。外国人観光客も増えてほしい。
「江別市と言えば〇〇！」といえるように
なってほしい。

